

ゆうべつ

令和 4 年 10 月発行

第44号

発行 社会福祉法人

湧別町社会福祉協議会

社協だより



笑顔 が印象的な「ふれあいサロンあ
い」の皆さん。8月に、うちわづくりを
しました。それぞれ好きな模様を貼りつ
けて作品を制作しました。『私のうちわ、
綺麗でしょ?』『あなた、上手にできた
わね』と、それぞれの作品を見比べなが
ら、楽しい時間を過ごしました。



地域を支える共同募金 ご協力をお願いします 赤い羽根共同募金

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金」が始まりました。

赤い羽根共同募金は、公的な支えでは補えない、地域に必要な福祉活動を支援するしくみです。集められた募金の多くは、町内の福祉活動に活用されますが、一部は大規模災害の発生時にボランティア活動が円滑に行われるよう「災害等準備金」として全道域で積み立て、万が一に備えています。

9月30日に、湧別町共同募金委員会会議を開催し、今年度の運動について協議され、目標金額や実施方法が決定されました。

自治会を通じて各ご家庭に募金協力をお願いする「戸別募金」や、企業を対象とした「法人募金」を中心として募金運動をしておりませんが、団体有志が実施する「街頭募金」や、各学校の児童会・生徒会の皆さんによる「学校募金」など、幅広い形で展開する予定です。

さまざまな地域福祉活動のために使われる大切な募金です。町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



令和4年度

湧別町共同募金 目標額

赤い羽根共同募金

目標額 2,283,000円

歳末たすけあい募金

目標額 550,000円

ご当地ピンバッジ 頒布しています！

今年度製作した「湧別町ご当地ピンバッジ」は、現在も頒布募金を継続して実施しています。ひとつ500円で頒布しており、製作費を除いた金額がすべて募金となります。

湧別町のマスコット・チューピットと、疫病退治の妖怪・アマビエを配したデザインです。

社協事務所のほか、町内協力事業所において頒布募金活動を実施しています。ぜひ、お求めくださいますようお願いいたします。

●頒布場所は次のとおりです

- ◆かみゆうべつ温泉
チューリップの湯様（中町）
- ◆イワイ様（中町）
- ◆麵屋おほーつく様（北兵村三区）
- ◆社協本所事務所（南町）
- ◆社協支所事務所（栄町）

湧別町限定

湧別町キャラクター チューピットと
疫病退治 アマビエ のコラボデザイン！



赤い羽根共同募金

歳末たすけあい募金配分事業

おせち料理 ふしせんと



歳末たすけあい募金の配分を受けて例年実施している「おせち料理プレゼント」を、今年度も実施いたします。希望される方は、原則ご本人により申込みをお願いいたします。

【対象となる方】

77歳以上のひとり暮らしで、町内に子どもが住んでいなく、大晦日をひとりで過ごし、このサービスを希望する方。

【お届け日】

令和4年12月31日（土）

午前9時～11時頃 ご自宅にお届けします。

【申込方法】

電話で申込みください。

原則、本人による申込みが必要です。

【申込期限】

令和4年12月9日（金）※期日厳守

【申込み・お問い合わせ先】

湧別町社会福祉協議会事務局

おせち料理プレゼント係

電話 2・2197

支え合いのある 住みよい街づくりを考える

地域の支え合いを考えるワークショップ

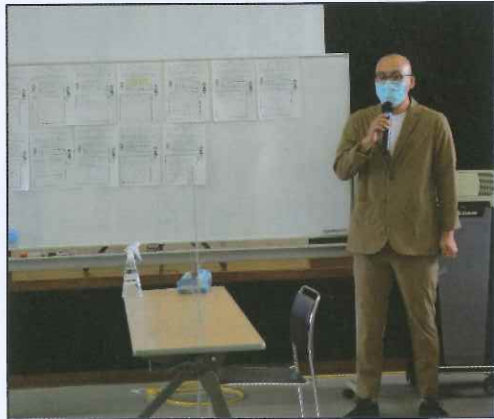
『ふれあいの基本は、傾聴から』
8月30日、社会福祉会館において、地域の支え合い活動を考えるワークショップを開催いたしました。

4回目の今回は、傾聴学習の振り返り会として、今年5月に開催した傾聴に関する講演会（地域の支え合いを考える学習会）の参加者を対象としたアフターミーティングの形式で実施しました。

アドバイザーには、講演会に引き続き、町内在住の僧侶で臨床宗教師の米本智泉氏をお招きし、講話と個人実習、グループ討議、実践演技（ロールプレイ）と、充実した内容の研修会になりました。

ワークショップのテーマは『実際に傾聴活動を体験する』。傾聴の基本や考え方を学んだうえで、あらかじめ仮定した傾聴相手の基本情報をもとに「私ならこう対応する、こう話す」ことを考える内容です。

12名が参加され、実践演技による発表や、参加者どうしの意見交



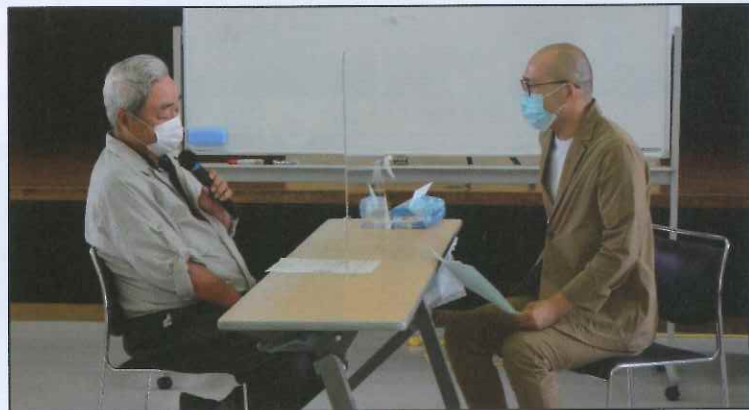
アドバイザー・米本氏による講評

換など、熱心に取り組まれていました。米本氏は「それぞれの視点で寄り添うことを考えられていて、皆さんの熱意に感激した。私自身とても勉強になった」と講評されました。

参加された方の中には、自治会や老人クラブの役員、民生委員などの地域活動されている方や、様々なボランティア活動に参加している方から高齢者支援を実践されている方もいました。参加者のひとりには「とても参考になった。今後の活動に生かしていきたい」と話されていました。



個人実習・グループ討議のようす



個人実習の発表（実践演技）のようす

ふれあい食堂ポレポレ

ぜひご参加ください

地域交流の拠点として、ボランティアさん手作りの昼食（カレーライス）が提供される地域食堂「ふれあい食堂ポレポレ」を開所しています。皆様のご参加をお待ちしています。

・開所日：毎月第1、第3水曜日（祝日と1月第1水曜日は休み） 正午～午後2時

・参加費：300円（食事代）

・会場：地域活動支援センターポレポレゆうべつ（中湧別南町）

・当日は、ポレポレの作業製品や野菜、惣菜などの加工品の販売を行っています。

【感染症予防対策のお願い】

テーブルに飛沫防止パネルを設置し、会場の換気を行うなど感染症防止対策を講じて実施しています。参加者の皆さんには、入場時の検温と手指消毒、参加者名簿の記入、飲食時以外のマスクの着用と黙食をお願いいたします。また、当面の間は湧別町民の利用に限定します。



自治会や職場の皆さんが受講されました

支えあいサポーター養成講座

地域福祉と認知症の現状と課題を知り、理解を深める機会として開催している「支えあいサポーター養成講座」を、前年度に引き続き開講しています。

この講座は、自治会や各種団体と連携し、出前講座形式で実施しています。生活支援コーディネーターによる支えあい活動に関する講話と、町保健師による認知症理解の研修（認知症サポーター養成講座）の2部構成です。

少子高齢化による支え合いの地域づくりに対するさまざまな情報を得ることや、認知症への正しい理解を深める機会になっています。「知ること、理解を深めること」から、住みよい街づくりと一緒に考えていきたいと開催するものです。

なお、これまで自治会や団体、職場で実施していたこの講座を、広く町民対象として開催いたします。ライフスタイルに合わせて受講しやすいよう町内2会場で開催し、それぞれ異なる時間帯で実施いたします。なお、湧別会場では、認知症にまつわる相談や談話のスペースとして「認知症カフェ」を同時開催いたします。詳細は、次のページをご覧ください。



日本郵便(株)湧別町内郵便局職員
令和4年6月14日、参加者7名
【参加者の声・アンケートより】
・認知症の方への対応方法など参考になることが多くありました。仕事を通して高齢者をサポートしていきたいと思います。(50歳代・男性)
・高齢者について相談・協力ができる場があることを知ることができました。(49歳以下・男性)



登梁床自治会
令和4年6月15日、参加者19名
【参加者の声・アンケートより】
・認知症の親を持つ立場として、親世代にも講座を受けてもらいたいです。(50歳代、女性)
・講座を受けてよかった。身近に生かしていきたいです。(50歳代、女性)
・認知症の方への対応などが知れてよかった。(49歳以下、女性)



南町自治会
令和4年9月4日、参加者12名
【参加者の声・アンケートより】
・以前にも認知症の講座を受けたことがありましたが、学び直すつもりで参加しました。とてもわかりやすい講座でよかったです。もっと多くの幅広い年齢層の人たちに受講してもらいたいと感じました。(60歳代、女性)

高齢者を支える地域づくりのために理解を深めませんか

支えあいサポーター養成講座

受講者を募集しています

会場① 湧別町文化センターさざ波
1階中会議室（湧別町栄町）

開催日 / 11月22日(火)
時間/午後1時30分～午後3時30分

講座終了後に「認知症カフェ(相談・交流スペース)」を設けます。
ぜひご参加ください。(1時間程度を予定しています。)

会場② 湧別町社会福祉会館
2階講堂（湧別町中湧別南町）

開催日 / 11月25日(金)
時間/午後6時30分～午後8時30分

※こちらの会場では「認知症カフェ」の開催はありません。

講座を修了した方には、認知症サポーター認定の証「オレンジバッジ」などが贈られます。

講習のテーマ みんなで高齢者を支え合い
ちいさな「変化・気づき」を見逃さない地域づくり



本講座は「地域福祉」と「認知症理解」の2つの講義・講話で構成いたします

「気づき」という支え合い活動
～高齢化社会と住民主体の生活支援について～

認知症を学び地域で支えよう
(認知症サポーター養成講座)

湧別町は総人口のうち、約4割が高齢者です。元気で明るい暮らしをしている人が多い一方で、身体的・精神的不安を抱えている人や、近所づきあいがなく、地域から孤立している人もいます。

地域住民による支え合い活動を推進するなかで、顔見知りやご近所という関係性があるからこそ感じる、住民目線のちいさな「気づき」が高齢者支援につながる場合があります。

この講話では、地域課題や生活支援の内容に触れ、地域住民による支え合い活動について、事例を踏まえながらお話いたします。

日本には現在、認知症患者が約600万人いるとされており、65歳以上の方の7人に1人が発病すると言われています。

もし身近に認知症の方がいた時にそっと見守る・そっと手助けをする人が地域にたくさんいることが、安心して暮らせる地域づくりにつながります。

この講座は、認知症の背景と現状、正しい理解と適切な対応を知ることがポイントです。本講座を修了された方には「認知症サポーターの証」として、オレンジバッジや認知症サポーターカードなどが贈られます。(認定グッズの内容は変更する場合があります)

湧別町社協ボランティアポイント付与対象事業

本学習会に参加された方には、チューリップSTAMP100ポイントを進呈しますので、カードをご持参ください。

◆参加方法 / 11月14日までに、電話で申込みをお願いいたします。

◆申込み・問い合わせ先 / 湧別町社会福祉協議会事務局

電話番号 2-2197

※新型コロナウイルス感染拡大の地域状況変化により、急遽中止する場合があります。

主催 湧別町社会福祉協議会 / 湧別町（福祉課・地域包括支援センター）
(湧別町生活支援体制整備事業 受託者)

あたたかい寄付金ありがとうございます

(令和4年7月1日から令和4年9月30日まで)

■香典返しを廃止して

(敬称略)

月日	住 所	氏 名	金額	月日	住 所	氏 名	金額
7. 7	札幌市	今 井 賢	20,000	8. 31	南 町	中 村 廣 行	30,000
7. 11	港 町	加 藤 壽美夫	100,000	9. 1	川 西	黒 田 誠 吾	30,000
7. 14	5の3	中 川 雅 元	10,000	9. 5	南 町	遠 藤 壽 枝	100,000
7. 20	信部内	端 場 洋 子	20,000	9. 13	屯 市	福 田 百合子	10,000
8. 1	東 町	鈴 木 隆 英	30,000	9. 26	錦 町	土 井 昭 宏	100,000
8. 10	東	佐々木 新 一	30,000	9. 26	東	臼 井 豊	30,000
8. 15	5の1	柿 崎 公 哉	30,000	9. 27	屯 市	佐 伯 博 実	50,000
8. 17	北 町	白 田 正 博	30,000	9. 28	曙 町	吉 竹 陽 子	30,000
8. 18	5の3	三 浦 晴 海	20,000				

■福祉活動に役立てて

(敬称略)

住 所	氏 名・会社名	金 額 ・ 品 名
5の1	高 柳 誠	金 30,000 円
	湧別水産同期会	金 74,000 円
錦 町	湧別町農業協同組合 代表理事組合長 上田 範幸	金 30,000 円
4の1	山 崎 正 晴	カラオケ機器一式
東 町	アサヒ食品工業株式会社	食品 (うどん・そば・ラーメン) 給食サービス・デイサービスの食材として

社協役職員のおもな動静

令和4年7月から令和4年9月まで

月日	用 務	出席者	月日	用 務	出席者
7. 5	道社協職員連絡協議会代議員会	局長	8. 4	網走地方共同募金委員会理事会	会長他
7. 6	さわやかふれあいねっと(研修会)	職員	8. 8	生活支援コーディネーター養成研修	職員
7. 6	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	8. 17	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
7. 8	オホーツク管内市町村社協連絡 協議会第1回会長・事務局長会議	会長 局長	8. 25	芭露地区民生委員福祉委員 連絡協議会会議	職員
7. 12	全道ホームヘルプサービス研究 大会(～7/13)	職員	8. 30	地域の支え合い活動を考える ワークショップ	(主催)
7. 14	網走管内社協職員連絡協議会 第1回正副役員合同会議・総会	局長	9. 4	支えあいサポーター養成講座	(主催)
7. 22	湧別町社協第2回会計監査	会長 監事他	9. 5	共同募金委員会実務担当者 研究協議会(オンライン)	職員
7. 22	ふれあいサロンゆう出前講座	職員	9. 7	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
7. 25	町内社会福祉法人役員合同研修会	(主催)	9. 13	町村共同募金委員会関係者 研究協議会	職員
7. 27	ふれあいサロンとも出前講座	職員	9. 20	全道社協職員研究協議会	局長他
7. 28	第4回湧別町社会福祉事業検討会議	局長他	9. 21	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
8. 3	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	9. 30	湧別町共同募金委員会会議	会長他

湧別町社会福祉協議会

本所 湧別町中湧別南町(湧別町社会福祉会館 内) 電話2-2197
支所 湧別町栄町(湧別町役場湧別第2庁舎 内) 電話5-3772